



FUKUHOUKAI
JIYUGAOKA
HIGH SCHOOL
ALUMNI ASSOCIATION

発行 福峰会事務局

編集

〒807-8586

北九州市八幡西区

自由ヶ丘1-1 耕雲館4F

Tel fax (093)692-0278

福峰会だより

VOL. 12

J I Y U G A O K A H I G H S C H O O L

福峰会会員の皆様におかれましては、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。
平成二十三年度 同窓会『福峰会』総会が、御来賓、恩師、母校の先生方のご臨席をいただきこのように盛大に開催できることは、誠に喜びに堪えません。厚くお礼申しあげます。
母校自由ヶ丘高等学校は、創立十周年を迎える今年四月、第二代校長として福田敬治校長が着任され、新たな学校経営方針のもと「新生自由ヶ丘高校」として、更なる飛躍を目指されることとなりました。

自由ヶ丘高等学校は、開校以来「県下有数の進学校」として、着実に実績を伸ばし、昨年度国公立大学合格者が一〇五名となり、初めて大台を突破いたしました。また、「文武両道の高校」としては、昨春の選抜高校野球大会(甲子園)出場をはじめ各部活動の活躍により名声を全国に轟かせ、名実ともに雄進学校として発展しております。

さて、同窓会『福峰会』は、来年五十周年と大きな節目を迎えます。昭和二十二年設立の福原高等学院の洋裁学校からスタートし、現在まで三万

時下、福峰会会員の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申しあげます。

本年四月より前井上校長の後任として着任しました福田でございます。前校長同様、よろしくお願い致します。平成二十三年度福峰会総会が盛会に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

と共に、全国各地において御活躍されている会員の皆様に対しましてお慶びを申し上げます。また、平素から母校の教育振興と在校生の激励のために、物心両面にわたり特段のご支援を賜りまして厚くお礼申しあげます。

さて、国際化・情報化・少子高齢化、経済状況等、社会構造が急速に変化し、従来通りが通用しない「変化の時代」となり、学校教育も大きな転換期を迎えております。また、国民の意識や価値観も多様化し、学校教育に求めるものも多様なものになっています。

本校は創立以来、「人間開発」、「学力開発」を基軸とした教育活動を推進し、着実に成果を上げ



校長 福田 敬治

建学の精神のもと “知的底力” を 自由ヶ丘高等学校校長 福田 敬治

てきました。しかし、今後更なる飛躍のため、は、建学の精神「自律処行」の教育理念のもと、に国際化社会を心豊かに逞しく生きることのできる「生きる力」いわゆる、知・徳・体のバランスのとれた人材の育成を図ることが必要であると考えています。現在、教職員一丸となり生徒達が生きていくがために、特色ある「特色ある学校創り」に取り組んでいます。学校教育活動全体を通して基本的なマナーを身に付け、アカウタビリティを果たすとともに、本校でなま信育学園の存在を地域に定着させ、必要とされる感性を持ち、ダイナミックに行動するようお願い申し上げます。

今後とも、本校の教育活動がさらに充実したとのなるよう、御理解と御協力・御支援を賜りま

されております。九州共立大学八幡西高等学校と九州女子大学附属高等学校から自由ヶ丘高等学校へと統合し、歴史の変遷はありましたが、創設者福原隆昌先生が掲げられた学是「自律処行」、校訓「規律・勤労・礼儀」の精神は同窓生の「絆」として継承されています。母校の発展のために今後とも同窓生の皆さんの御支援、御協力をお願ひいたします。

同窓会活動最大の行事である総会は、平成十八年度より当番期による総会実行委員制を導入し、本年度は昭和五十七年卒業生が当番期です。実行委員は、昨年末より企画・運営などに献功された同窓生の皆様の御連絡を御祈念申し上げ御挨拶といいます。身的に取り組まれ、すばらしい総会開催となりました。実行委員の皆様には衷心より感謝申し上げます。



会長 福原 悟

一千余名の同窓会会員が全国各地・各方面で活躍されています。九州共立大学八幡西高等学校と九州女子大学附属高等学校から自由ヶ丘高等学校へと統合し、歴史の変遷はありましたが、創設者福原隆昌先生が掲げられた学是「自律処行」、校訓「規律・勤労・礼儀」の精神は同窓生の「絆」として継承されています。母校の発展のために今後とも同窓生の皆さんの御支援、御協力をお願ひいたします。

福峰会会員の皆様におかれましては、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

自由ヶ丘高等学校 「校歌」
作詞 小堺 宇市
作曲 坂本 不二夫

自由ヶ丘高等学校「讃歌」

丘の上には 白い雲
私は私のままでいい
君は君のままでいい
自分を信じて自分らしく
明日を信じて無理をしないで
雲の上にはいつもいつも青い空
明るい世界が待っている

船路は栄行く 港 洞海
帆影 船影 近く見なして
理想輝く 平和佳き郷
若人羽搏く 自由ヶ丘
あゝ 其名厳たり 福原学園

明日という希望を乗せて
時の船は流れてくる
自分に良いことしよう
明日を信じて無理をしないで
雲の上にはいつもいつも青い空
明るい世界が待っている

一人一人がいのちを抱いて
そしてそしてさあ始めよう
雲の上にはいつもいつも青い空
光の花束贈りたい

インターハイ・国体における自由ヶ丘旋風

高校生最大のスポーツイベント、全国高校総体（インターハイ）が、今年は北東北地区を舞台に開催された。約6万人の高校生が汗を流し、また母校の栄誉をかけて戦った。本校からは陸上競技部・駅伝部・バドミントン部が出場し、素晴らしい成績を残すことが出来たのでここに報告したい。

陸上競技は岩手県北上陸上競技場で開催された。東日本大震災の余波もあり、一時は開催を見送る、という意見まで出たが、実行委員会の懸命の努力もあり、無事例年通りの大会が挙行された。陸上競技部からは10名、駅伝部からは1名が出席し、そのうち原佑弥君（3年体育コース）が男子110mハードルにおいて第4位に入賞した。原君は昨年度日本ユース選手権において男子110mハードルで全国優勝しており、それに続く入賞となった。



バドミントン部は、リンゴの産地青森県の弘前市を中心に各地で熱戦を繰り広げた。本校バドミントン部から濱崎元輝君と中村心君（3年進学コース）のペアが個人ダブルスに、また濱崎元輝君が個人シングルスに出場した。シングルスは残念ながら2回戦で敗退したが、ダブルスにおいて3回戦ファイナルセット16対19の劣勢から逆転し、21対19で見事勝利。4回戦もファイナルを制し、準々決勝も全国1位の埼玉栄高校とファイナルまで接戦を演じ、目標のベスト8入賞を果たした。

なお、今年度の国民体育大会（山口県）には、陸上競技部より原佑弥君が少年男子A走幅跳に、また川島滉平君（1年スーパー特進クラス）が少年男子B110mジュニアハードルに出席する。原君も川島君も十分全国入賞が狙えるレベルであり、インターハイに引き続き好記録が期待されている。

OB・OG 各界・各方面で大活躍

剣道部OB・OGの健闘！

5月に第48回全九州女子学生剣道選手権大会が開催された。本校OBの竹森美寿々さん（平成20年度特進アドバンスクラス卒、北九州市立大3年）が、強豪選手を連破し見事3位に入賞した。

大会の大きな山場となったのは2回戦、自由ヶ丘高校時代のチームメイトであり大将を務めていた田村彩華さん（平成20年度体育コース卒、別府大3年）との一戦であった。田村さんは大学に進学し、大分県代表として全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会に出場し、さらに現在は国民体育大会強化指定選手でもある実力者だ。とともに高校時代から県のトップレベルの女子剣士として、切磋琢磨した剣友でありライバルである。試合は予想通り白熱した展開となり、時間内に勝負がつかず延長戦に入り、竹森さんがコテを打ちこみ、十数分間の死闘に決着をつけた。試合後、「あまりに早い2回戦での対戦に少し戸惑いました。」と竹森さんは対戦を振り返った。



また、9月に第58回全九州学生剣道大会が開催された。本校OBの沼田大輔さん（平成19年度体育コース卒、九州共立大4年）と小田貴欧さん（平成19年度進学コース卒、同大4年）が所属する九州共立大学剣道部が準優勝し、10月に日本武道館で開催される第59回全日本学生剣道優勝大会に出場する。準決勝戦の福岡大に1対1（本数勝）、決勝戦の鹿屋体育大には3対0で惜敗したが、OB2人の活躍が光った大会であった。

がんばれ、本校OB、OG！

バドミントンの頂点を目指し！親子鷹「父の背中を追いつづけて…」



自由ヶ丘高校バドミントン部は、今年もインターハイに出場し7年連続の出場となった。平成19年・22年に九州選抜大会団体優勝を果し、現在、全国制覇を目指し猛練習に励んでいる。そのような中、成富勝彦監督（昭和55年卒、宇都宮大学卒）の長男成富勇太選手（1年特進アドバンスクラス）がバドミントン部の門を叩いた。勇太選手は、両親の影響を受け5才からラケットを握り、全国小学生ダブルス日本一、3年連続全国中学校大会出場など各大会で実績を揚げ、トップレベルの選手として注目を集めた。強豪校からの勧誘も受けたが、最終的には父親が指導する自由ヶ丘高校バドミントン部を選んだ。入学後も着実に実力をつけ、全日本ジュニア選手権大会出場をはじめ各大会で活躍している。そして11月には、宮城県で開催される第10回日本バドミントンユニバーグランプリ2011の福岡県代表として、親子で監督と選手に選抜されている。親子鷹で頂点を目指すバドミントン部に大きな期待が寄せられている。

小柳優衣さん～銅版画アーティスト～

こんにちは、銅版画アーティスト小柳優衣です。

私は筑波大学芸術専門学群在学中から学外での作品発表に取り組み、作家活動を開始しました。初めての個展から次の展示につながったり、そこからさらにお仕事をいたしたりしながら経験を積み、大学を卒業するころにはインクメーカーのスポンサーが応援してくださるようになりました。自分の作品集をつくり、ギャラリーや美術館、企業や新聞社などに「少しでも作品を知ってもらおう」「こういう仕事できます！」「こういう企画あります！」と営業することが功を奏して、現在は多くの方々の応援をいただき、こうしてアーティストとして活動を続けられています。



主に銅版画の作品を中心に発表していますが、みなさんはこの銅版画をご存知でしょうか？小学校の授業などで木版画をつくるのに、彫刻刀で木を彫ったことがあるのではないかと思います。銅版画とは、この木の部分が金属の銅になったと思ってください。銅にイメージを刻み込むことで版を作り、紙に写し取る技法です。とても簡単にご説明しましたが、百聞は一見に如かず、ぜひ実物をご覧になられてくださいね。

これからも自由ヶ丘高等学校卒業生の誇りと責任を持って、アーティストという立場から社会に貢献していきたいと思います。ぜひ応援よろしくお願ひいたします。

次回展示ご案内

小柳優衣 銅版画小作品展「腐蝕の形跡」

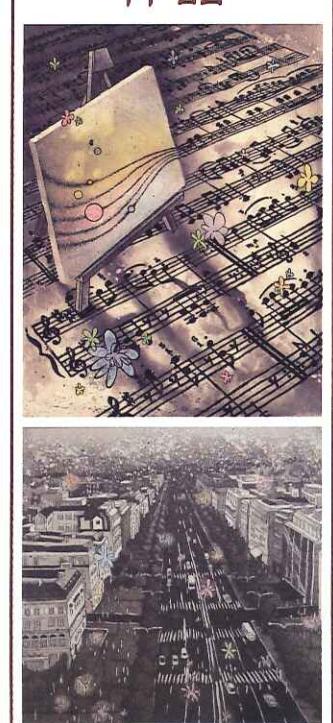
ギャラリー上原

〒151-0064 東京都渋谷区上原1-21-11 BIT代々木上原II 1F
03-3467-3932

小柳 優衣

HP : <http://yui-koyanagi.jimdo.com> blog : <http://ameblo.jp/yui98nagi/>

作品



活躍中の部活動

硬式野球部

今年度は、春の九州大会へ福岡3位代表として出場、北州市長杯ベスト4、NHK旗出場、夏の選手権大会ベスト16という結果を残しました。また、新チームは新人戦で準優勝と好発進し、福原弘之監督のもと、自由ヶ丘の歴史に新たな1ページを刻めるよう、日々の練習に励んでいきます。

野球部data

部員数 58名 顧問 加藤政之・福江展之・福原弘之・末次秀樹・赤嶺琢・吉本愛彦



陸上競技部

今年は10名の選手が全国高校総体に出場し、32年連続で全国高校総体出場中です。また、近年は女子砲丸投や男子走高跳、それに男子4×400mリレーで全国入賞を果たしており、今年は男子110mハードルで原佑弥君が第4位になりました。今後も競技力と文武の両立を目指して日々練習に励みたいと思います。

陸上競技部data

部員数 男女合わせて50名
顧問 徳永憲昭・木宮貴之(平成5年卒)・
福田佑季(平成15年卒)



駅伝部

駅伝部は、春から夏にかけてトラックレース、秋から冬にかけては駅伝とロードレースに出場します。今年度は駅伝部2年の大林秀君(2年進学コース)が男子5000m競歩においてインターハイに出場しました。駅伝部として6年連続のインターハイ出場になります。現在は、全国高校駅伝を目指して頑張っています。

駅伝部data

部員数 男子14名 女子10名 顧問 男子 岸本隆雄 女子 藤脇友介・園田孝允



バドミントン部

今年度7年連続18回目のインターハイ出場を果たし、個人ダブルスにおいて3年生の濱崎元輝・中村心組がベスト8入賞を果たしました。また、全日本ジュニアに1年生ペアがダブルスで出場するなど後輩も頑張っています。女子も現在福岡県団体3位の実力を持ち新チームでは九州大会、さらに全国大会を目指す位置まで来ました。男女共に高い目標を持って取り組んでいます。練習場所は、八幡西高校時代の体育館のままでありますので、時間があるときは、ぜひ顔を出して下さい。

バドミントン部data

部員数 男子18名 女子15名
顧問 成富勝彦(創部より26年目・昭和55年卒)
栗田里美(平成7年より16年目)
花田直樹(平成18年より5年目)



吹奏楽部

4月入学式より始まり、1年生歓迎会、6月の文化祭、吹奏楽祭、7月は野球応援、そして吹奏楽コンクールに参加しています。本年度は22名と少ない人数ながら、銀賞を受賞することが出来ました。9月には体育祭、12月は10日に九州共立大学リバティヒルワインズの定期演奏会への参加、そしてクリスマスコンサートと続きます。1月は幼稚園訪問演奏があり、3月の卒業式では、音楽を通して3年生の門出をお祝いします。

吹奏楽部data

部員数 男女合わせて22名 顧問 橋間法子・山崎隼之介・芹野佳代



剣道部

第23回錦陵旗剣道大会が8月6日(土)に行橋市民体育館にて開催されました。この大会は福岡をはじめ、8県の強豪88校が参加して行われました。本校は決勝戦で東福岡高校を破り、6年ぶり2回目の優勝に輝きました。また、大将の上田健人選手(2年進学コース)が優秀選手賞を受賞しました。

剣道部data

部員数 20名
顧問 北原有蔵(昭和46年卒)
北原利一(平成6年卒)



バスケットボール部

男子については、ライジング福岡を昨年引退した川面剛先輩(平成5年卒)が高校1年生の時より続いたインターハイ予選福岡県大会出場を、今年度は22年振りに不出場という歴史の年になりました。女子もこの2年程は県大会には常連となっていましたが、平成22年度新人戦より県大会出場から遠ざかっています。男女とも「0からの出発」を合言葉に日々練習に励んでいます。

バスケットボール部data

部員数 男子24名(マネージャー2名)
女子15名(マネージャー1名)
顧問 男子 鳥越拡史・三木義照
女子 野間慶吾・下澤新一郎



チアリーディング部

本校野球部の甲子園出場を期に創部され、今年度から日本チアリーディング協会に準加盟しました。7月2日に行われた第18回九州チアリーディング選手権大会兼日本選手権地区予選ではエキシビションで出場し、技能賞を獲得しました。部員の数は少人数ですが、一丸となってよりレベルの高い技を習得し、全国大会に出場することを目標にしています。現在は11月に行われる九州チアリーディングフェスティバル2011で3位入賞することを目標に経験豊富なコーチのもと、日々練習に励んでいます。

チアリーディングdata

部員数 女子10名 顧問 林山優華・栗田里美・塩川怜子



サッカー部

今年度も春の地区大会では3部リーグで戦いましたが、善戦むなしくリーグ2位となり、2部への昇格の願いを断たれました。夏の選手権予選では、1回戦で育徳館に快勝し、2回戦でもシード校の嘉穂東に善戦しましたが、決定機をことごとく逃し敗れました。現在は、1・2年生の新チームとなり、新人大会を目指して頑張っています。

サッカー部data

部員数 33名
顧問 伊藤博則・大住和久・坪井聰



生物部

生物部は継続的にトビムシの調査を行っています。現在、「トビムシを中心とした土壤動物の食物連鎖」というテーマで、毎日遅くまで活動しています。22年度における研究発表会の実績は、3月の植物生理学会全国大会で優秀賞、5月の生物系三学会全国大会において最優秀賞、12月の福岡県高等学校生物部会福岡県大会において優秀賞をいただきました。本年度も9月、12月、2月、3月の研究発表会に向けて精進しています。

生物部data

部員数 男女合わせて5名
顧問 桑原寧久・田中毅



